

# 選挙の概況

## 1 まえがき

第47回衆議院議員総選挙は、平成26年11月21日安倍内閣のもとでの衆議院の解散により、12月2日に公示され、12月14日に投票が行われた。衆議院解散から総選挙までの期間は22日間であった。

今回の選挙は、平成24年12月から約2年を経た総選挙であり、消費税増税、集团的自衛権、環太平洋連携協定（TPP）といった日本の将来を左右する重要課題が争点として選挙運動が繰り広げられた。選挙の結果、自由民主党、公明党は合わせて325議席を獲得し、引き続き政権を担うこととなった。

投票率の全国平均は小選挙区選挙で52.66%、比例代表選挙で52.65%であった。本県では小選挙区選挙で56.11%、比例代表選挙で56.10%であり、衆議院議員総選挙としては戦後最低の投票率となった。

## 2 管理執行

### (1) 候補者及び当選人について

大分県の小選挙区では、第1区は、日本共産党、民主党、自由民主党から各1人の計3人の届出があり、民主党元衆議院議員の候補者が当選した。第2区は、日本共産党、社会民主党、自由民主党から各1人の計3人の届出があり、自由民主党前職の候補者が当選した。第3区は、日本共産党、民主党、自由民主党から各1人の計3人の届出があり、自由民主党前職の候補者が当選した。

比例代表の九州選挙区では9政党が届出をした。当選人の決定は、各名簿届出政党等の得票数に応じて当選人の数を配分するドント式で行われ、自由民主党8人、公明党4人、維新の党3人、民主党3人、日本共産党2人、社会民主党1人の計21人が当選人と決定された。

### (2) 投票状況について

#### ① 投票用紙

小選挙区、比例代表それぞれ、1,024,000枚を印刷し、小選挙区が薄黄色の用紙に黒刷り、比例代表が浅黄色の用紙に赤刷りとし、規格は縦13cm、横9cmの縦長とした。最高裁判所裁判官国民審査の投票用紙は、1,024,000枚を印刷し、縦9.1cm、横15.2cmの横長で、白色の用紙に黒刷りとした。

また、点字機使用者の便宜を図るため、紙質を厚くした点字投票用紙も小選挙区、比例代表、国民審査それぞれ3,750枚印刷した。

なお、総務省が作成した在外投票用紙を在外選挙人名簿登録者数に応じて各市町村へ配布した。

#### ② 投票所数

投票所は、県内で606箇所あり、そのうち投票所の閉鎖時刻を繰り上げたのは432箇所、その内訳は、1時間の繰り上げが189箇所、2時間の繰り上げが188箇所、3時間の繰り上げが44箇所、4時間の繰り上げが11箇所であった。

#### ③ 投票率

全国の投票率は、小選挙区で男性53.66%、女性51.72%の平均52.66%、比例代表では男性53.65%、女性51.71%の平均52.65%であった。大分県の投票率は、小選挙区で男性56.68%、女性55.61%の平均56.11%、比例代表では男性56.67%、女性55.60%の平均56.10%であり、小選挙区、比例代表ともに九州では2番目、全国では8番目に高かった。

在外の全国の投票率は、小選挙区18.46%、比例代表では18.87%で、大分県は小選挙区15.82%、比例代表では16.23%であった。

#### ④ 無効投票

無効投票は、小選挙区で投票総数546,780票のうち13,921票で無効投票率2.55%となり、全国平均の3.29%を下回ったが、比例代表については投票総数546,675票のうち18,847票で無効投票率3.45%となり、全国平均の2.55%を上回る結果となった。

### (3) 開票状況について

#### ① 開票状況

選挙期日当日、各市町村の開票区ごとに即日開票され、ほとんどの市町村で予定どおりに開票作業が終了した。

#### ② 開票速報

投開票の速報の受理、集計及び記録を行うため、正庁ホールに速報本部を設置し、21会議室において報道機関向けに発表を行った。

速報に携わった要員は、総括責任者以下36人であった。

### (4) 選挙会及び当選証書付与について

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙会は12月17日（水）に、第1区が午前9時30分から、第2区が午前10時から、第3区が午前10時30分から、衆議院比例代表選出議員大分県選挙分会は同日午前11時から、最高裁判所裁判官国民審査大分県審査分会は同日午後2時から県選挙管理委員会室においてそれぞれ開催された。

当選証書の付与は、同日午後1時から第4委員会室で行われた。

### (5) 選挙公営について

#### ① 政見放送

政見放送は候補者届出政党が行い、小選挙区選出議員選挙の政見放送は、テレビでは12月8日、9日、10日、11日にNHK2回、OBS、TOS、OABとも各1回の計5回、ラジオでは12月10、11日にNHKにおいて計2回が放送された、政見放送の申込政党は4政党であった。

#### ② 選挙公報

小選挙区、比例代表ともに新聞紙大（ブランケット版）の用紙に印刷し、12月6日と7日に各市町村に発送した。小選挙区は全候補者の9人（第1区3人、第2区3人、第3区3人）について選挙区ごとに用紙の表裏に、比例代表は9政党分を4ページにわたって掲載した。

#### ③ ポスター掲示場

ポスター掲示場の設置数は3,864箇所であった。また、ポスター掲示面の区画数は、第1区が10区画、第2区が8区画、第3区が8区画であった。

## 3 明るい選挙推進運動について

振興局単位で「新有権者」による街頭啓発を行った。街頭啓発では、人が集まりやすい大型商業施設やショッピングセンター等の場所において、投票参加を呼びかけた。

また、テレビ、ラジオ、インターネットテレビ及び大分市内の映画館2館でCMを配信し、今回新たに県選挙管理委員会のフェイスブックを開設し、情報発信を行った。